

第37回 長崎市社会福祉大会 開催要綱

1 趣 旨

今日、人口減少や急速な少子化・高齢化の進行により、地域社会や世帯の構造が大きく変化し、市民が抱える福祉ニーズも複合的な課題を有する多様なものとなってきており、これからの地域づくりでは、地域課題を住民自身が「我が事」として解決を試み、生活課題を「丸ごと」受け止める総合的な支援体制の構築が求められている。

さらに、地域共生社会の実現に向けては、福祉ニーズや地域課題を個人や一機関で抱え込むことなく、みんなでみんなを支え合う包括的な支え合いの仕組みづくりを、地域住民と行政並びに福祉関係者が協働し進めていくことがますます重要となっている。

本大会では、多年にわたり社会福祉の増進に貢献した方々を顕彰し感謝と敬意を表すとともに、福祉関係者並びに市民が一堂に集い、誰もが $\textcircled{5}$ だんの $\textcircled{4}$ らしのなかで $\textcircled{1}$ あわせを感じられる、笑顔あふれるまちの実現に向け、地域福祉活動のさらなる活性化へと繋げることを目的に開催する。

2 大会テーマ

「令和元年 平成の災害の教訓を踏まえ 今、私たちにできること」

3 特別講演

演題 「災害で得られた教訓を、未来の災害対策のために」

講師 社会福祉法人朝倉市社会福祉協議会 福祉課長 居川 茂 氏

福岡県朝倉市杷木林田 元区長 林 清一 氏（現在 白木地区復興支援協議体代表）

近年、日本の各地域では地震や台風、大雨などの自然災害が多発し、自治体や自衛隊等の公的な支援だけでは十分に対応できないような大規模災害の発生する可能性が高くなっている。

このような中、平成29年7月九州北部豪雨により被災した福岡県朝倉市社会福祉協議会の職員から、災害時のボランティアセンターとしての対応・課題及び被災後の復興の状況についてご講話いただくと共に、地域の最前線で先頭となり復興の支援にあたった地域の関係者から、災害時の実践事例の話を伺うことで、防災意識の向上を図り、今、私たちにできることについて考える。

4 アトラクション こどもくんち（龍踊り）

社会福祉法人 長崎北保育園

5 期日及び日程

(1) 期 日 令和元年10月2日（水） 午後1時30分 開会

(2) 日 程

12:30	13:30	13:40	14:20	14:30	15:40	15:55	16:00
受付	開会 主催者挨拶	表彰 来賓祝辞 来賓紹介 主催者紹介	謝辞 主催者紹介	休憩	特別講演	アトラクション	大会宣言 閉会

6 会 場

長崎市民会館 文化ホール（長崎市魚の町5番1号）

7 主 催

社会福祉法人 長崎市社会福祉協議会

8 共 催

長崎県共同募金会長崎市支会

日本赤十字社長崎県支部長崎市地区

9 後 援

長崎県 長崎市 長崎市教育委員会 長崎市保健環境自治連合会 長崎市社会福祉事業団 長崎市民生委員児童委員協議会 長崎市心身障害者団体連合会 長崎市老人クラブ連合会 ひとり親家庭福祉会ながさき 長崎地区保護司会 長崎市保育会 長崎市老人福祉施設協議会 長崎市シルバー人材センター 長崎青年会議所 長崎県社会福祉協議会 長崎県共同募金会 日本赤十字社長崎県支部 長崎新聞社 西日本新聞社長崎総局 毎日新聞社長崎支局 読売新聞西部本社 朝日新聞社 NHK 長崎放送局 NBC 長崎放送 KTN テレビ長崎 NCC 長崎文化放送 NIB 長崎国際テレビ エフエム長崎 長崎ケーブルメディア

10 参 加 者

福祉に関心を持つ市民、福祉関係者

11 表 彰

- (1) 社会福祉の増進に貢献した者や団体等に対して、長崎市社会福祉協議会会長が表彰を行う。
- (2) 赤い羽根共同募金の目標額達成地区に対して、長崎県共同募金会長崎市支会支会長が表彰を行う。
- (3) 日本赤十字社活動資金の目標額達成地区に対して、日本赤十字社長崎県支部長崎市地区地区長が表彰を行う。

12 大会事務局

社会福祉法人長崎市社会福祉協議会 地域福祉課 地域福祉係
〒850-0054 長崎市上町1番33号（長崎市社会福社会館内）
電話：095-828-1281 FAX：095-828-7236